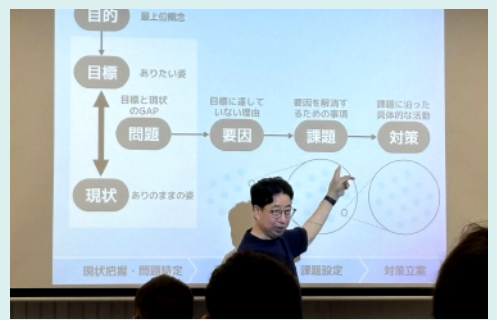


きくがわ未来塾 2025 がスタートしました

7月17日、プラザきくくるにて「きくがわ未来塾 2025」第1回講座を開催しました。今年で10期目を迎える本講座は、これまで多くの市民にまちづくりの場を提供してきた実績のある連続講座です。今回は新たなスタイルとして「学び合い、つながり、動き出す」をコンセプトに、これからのまちづくりを担う市民一人ひとりの気づきと行動を後押しすることを目的に企画しました。講師にはNPO法人NPOサプライズの飯倉清太さんをお迎えし、3回連続でご登壇いただきます。

第1回は「一歩踏み出せば、まちは変わる」と題し、地域と関わるこのの意味や可能性、そして誰もがまちの一員としてできることについて、実体験を交えて熱く語っていただきました。参加者からは「自分の役割に気づくことができました」「心に刺さる言葉が多かった」といった感想が寄せられ、学びと刺激にあふれた時間となりました。今後の展開にもぜひご期待ください。



きくがわまちづくり NEWS



にこにこチャージまつりイベント初開催

7月20日、文化会館アエルで、親子で楽しみながら心と体を元気にするイベントを3団体で協働開催。約300人が訪れ、親子は「あそび・まなび・癒し」がぎゅっと詰まったさまざまなプログラムを楽しみました。



みんなで防災パワフル・ジャンプきくがわ 2025

7月26日、子育てサポーターばればれが主催し、文化会館アエルで生活環境フェスタと同時開催。家族連れなどおよそ1,200人が訪れ、防災に関する展示や体験を通して災害時に自分の命を守る知識を学びました。

ちょっとひと息♪夕暮れカフェ

「暮らしと地域医療のこれから」

菊川で活躍するユニークな人をゲストに迎え、楽しく交流しましょう。今回のゲストは菊川市家庭医療センター「あかつちクリニック」のセンター長、松田真和さん。地域にとって医療はどんな存在でしょう？暮らしの安全やつながりを支える場所として、あらためてその役割を見つめ直すカフェを開きます。ゆるりとお気軽にご参加ください♪

9月4日(木)

18:30 ~ 20:00

at プラザきくくる 2階 市民協働センター



対象	参加料	定員
どなたでも	500円(お茶菓子代) 学生無料	10名程

ゲスト
あかつちクリニックセンター長 松田真和さん
申込みフォーム▶



市民協働センターまで、申込みフォームか電話でお申込みください。

申込み&問合せ 菊川市市民協働センター
TEL・FAX 0537-35-2220 メール kikucen1@sage.ocn.ne.jp



4 木	夕暮れカフェ ゲスト：松田 真和さん 菊川市家庭医療センター「あかつちクリニック」センター長	主 市民協働センター 申 0537-35-2220
7 日	田んぼアート菊川 2025 収穫祭 10:00~12:00 下内田 4261-1 付近 参加費：500円 (軽食・飲み物付)	主 田んぼアート菊川実行委員会 問 090-7049-3108 (事務局・宮城)
9 火	菊川でゴミ拾い ひろまちコラボ 7:30~8:00 きくる広場 (プラザきくる東側公園) 参加費：無料	主 きくがわ未来会議 問 0537-35-2220 (市民協働センター)
15 月・祝	演劇コンクール参加作品 赤堀愁・山崎美代子 二人芝居『軍神の母』 昼の部 14:30~/夜の部 18:30~ 菊川文化会館アエル 小ホール 一般2,000円/学生1,000円 当日券は+500円	主 TOMO☆PROJECT 問 tomo@pafu.eco.to
20 土	小さな収穫祭 9:00~売切れ次第終了 プラザきくる1階 入場料：無料	主 静岡県立小笠高校 問 0537-35-3181
26 金	学生 × まちづくり ~中高生のまちづくり参画と居場所について~ 18:00~19:30 市民協働センター 参加費：無料	主 NPO 法人すなぐるきくがわ 申 kosugi.shinya@gmail.com
26 金	12/7 きくがわおんぱく~音とみどりの博覧会~ 各プログラムにより異なるため、詳細はリーフレットをご確認ください	主 子育てサポーターばれぼれ 問 090-7175-7040 (倉部)
27 土	多文化共生講座 江戸の生活文化とSDGs ~まとうもの、昔は宝、今はゴミ?~ 14:00~16:00 プラザきくる1階 多目的ホール 参加費：500円 (学生100円)	主 つながる菊 Café プロジェクト 申 tunagarukikucafe@gmail.com

菊川びとにインタビュー

菊川市家庭医療センター 松田 真和さん



菊川市家庭医療センター「あかつちクリニック」のセンター長として、年齢や病気の種類を問わず、目の前の人そのものに向き合う医療を実践しています。老若男女すべての人のニーズに応え、一人ひとりの幸せを広げて繋げていくことを目標に掲げています。また「誰もが貴重な存在である」という考えのもと、「きくがわ全市民ヒーロー化計画」という活動も進めています。高校生や高齢者との語らいの中で、松田さん自身も多くを学び、地域に支えられていることを実感しているそうです。「医療は地域生活のほんの一部。医療の枠組みにとらわれず、一人ひとりの幸せをサポートできたら嬉しい」と語ってくれました。

レポート

中学生 NPO 体験セミナー 事前学習会



7月19日、中学生NPO体験セミナーの参加者を対象に事前学習会を開催しました。ミニ講座では「社会をよくするのは特別な誰かではなく、自分にもできることがある」というメッセージのもと、NPOや地域活動の基本を学びました。また学生団体きくがわまみれ代表落合奏楽さんによる地域活動の体験談からは、地元に関わる面白さ、やりがいを実感。NPO法人キーパーソン21によるワークショップでは「好き」や「得意」を出発点に、自分の原動力や未来の可能性を考えました。参加者からは「地域で自分にできることがあると感じた」「将来の夢を人前で話せて自信がついた」といった声が寄せられました。